

インターネットガバナンスフォーラム(IGF)は、マルチステークホルダーによる相互交流と議論のエコシステムです。参加者は、世界各地の多様な人々から構成されており、参加するすべての人が、安全に、かつ他の参加者からの尊重を受けながら参加できることが不可欠です。日本インターネットガバナンスフォーラム(以下日本IGF)では、IGF行動規範を踏襲する形で、以下の通り、「日本インターネットガバナンスフォーラム行動規範」を制定します。

日本IGFでは、いかなる形であっても、参加者に対するハラスメントは容認されません。日本IGFの活動(対面会議、オンライン会議、メーリングリストでの議論などを含みます)に参加する者(一般社団法人日本インターネットガバナンスフォーラム支援機構の定款において「構成員」と定義されます)は、以下のことに同意するものとします。

- IGFが人権に根ざした国連憲章の価値および原則を遵守しているのと同様に、国籍、性別、人種・民族、宗教・信条、障害、年齢、性的指向にかかわらず、日本IGFのすべてのメンバーを尊重して扱うこと。日本IGFコミュニティのすべてのステークホルダーは、対面でもオンラインでも、お互いに礼節をもって接すること。
- IGFに関連して発言や意見表明を行う場合、またはイベントを企画する場合には、最大限の敬意を示し、参加者に対する侮辱的または攻撃的な言葉遣いその他の攻撃を抑えること。
- 個人、グループ、組織、政府などの特定のアクターではなく、インターネットガバナンスに関連する課題に焦点を当てて議論や発言を行い、個人攻撃や人格攻撃を抑えること。
- 日本IGFの議論の場に参加したり、その場を利用する際には、合理的、客観的、かつ十分な情報に基づいた態度で行動すること。
- 日本IGFの政策課題を検討する際には、すべてのステークホルダーの意見に耳を傾け、尊重すること。日本IGFはマルチステークホルダーの環境であり、日本IGF会合および会期間活動に参加する者は、すべてのステークホルダーの重要性を認識し、その見解を理解するよう努めること。
- 日本IGFの議論およびプロセスに参加する際には、透明性と開放性を重視すること。
- 日本IGFのプロセスにおいて、他の参加者に対して公平かつ誠実に行動すること。
- 権利に基づく、責任ある行動を促進すること。人権は、国連憲章の柱の一つとして不可欠であり、日本IGFはすべてのステークホルダーが責任ある、原則的な方法で行動することを期待する。

本行動規範は、日本IGFの定款、フォーラム運営規定などから参照されます。

以上